

事務事業チェックシート

事務事業No 141 事業名 悪臭防止事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	悪臭防止法	
関連個別計画	和歌山市環境基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	中西 克之(435-1114)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業 事項	環境保全対策費 騒音・振動・悪臭防止事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	悪臭防止法に基づき、生活環境に関する各種測定を実施し状況を把握することにより、悪臭を防止して良好な日常生活を維持する。	悪臭防止法に基づき、市内4地点(松江西、島橋、中之島、小雑賀)で悪臭物質(22項目)の測定を実施する。また、3工場・事業場で排水中の悪臭物質(4項目)の測定を実施する。公害防止協定に基づく対象工場の監視については、年4回測定を実施する。三点比較式臭袋法による悪臭の測定は、年6箇所で行われる。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		市内4地点で悪臭物質(22項目、年2回)の測定を実施 公害防止協定に基づく悪臭物質(アンモニア:3地点を年4回、硫化水素:3地点を年4回)の測定を実施 3工場・事業場で排水中の悪臭物質(4項目)の測定を実施 三点比較式臭袋法による悪臭の測定を年6箇所で行われる	市内4地点で悪臭物質(22項目、年2回)の測定を実施 公害防止協定に基づく悪臭物質(アンモニア:3地点を年4回、硫化水素:3地点を年4回)の測定を実施 3工場・事業場で排水中の悪臭物質(4項目)の測定を実施 三点比較式臭袋法による悪臭の測定を年6箇所で行われる	市内4地点で悪臭物質(22項目、年2回)の測定を実施 公害防止協定に基づく悪臭物質(アンモニア:3地点を年4回、硫化水素:3地点を年4回)の測定を実施 3工場・事業場で排水中の悪臭物質(4項目)の測定を実施 三点比較式臭袋法による悪臭の測定を年6箇所で行われる	市内4地点で悪臭物質(22項目、年2回)の測定を実施 公害防止協定に基づく悪臭物質(アンモニア:3地点を年4回、硫化水素:3地点を年4回)の測定を実施 3工場・事業場で排水中の悪臭物質(4項目)の測定を実施 三点比較式臭袋法による悪臭の測定を年6箇所で行われる	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,134	656	1,287	722	1,157	924	1,252		1,252	
伸び率(%)	-	-	13.5%	10.1%	▲10.1%	28.0%	8.2%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,252	4,211	3,682	3,667	3,682	6,769	6,106	6,106	
	正規職員以外									
小計	3,252	4,211	3,682	3,667	3,682	6,769	6,106	6,106	6,106	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,134	656	1,287	722	1,157	924	1,252		1,252	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.57	0.45	0.48	0.45	0.89	0.77	0.77	
	正規職員以外									
主な予算内訳	検査分析委託料994千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 監視地点数	件	目標値	19	19	19	19	
		実績値	19	19	19		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 工場・事業場等の規制基準順守率	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	100	94.7	100		
		達成度(%)	100.0%	94.7%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の監視測定の地点数で引き続き適正な実態把握に努める
見直し・改善内容	